

## アンモニア燃料船の基本設計承認を取得

日本シッパード株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：前田 明德、以下「日本シッパード」）は、この度、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 COO：石井 敬太、以下「伊藤忠商事」）、株式会社三井 E&S マシナリー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田中 一郎）、川崎汽船株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：明珍 幸一）、NS ユナイテッド海運株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：谷水 一雄）と共同で、日本海事協会（ClassNK）より、アンモニア燃料船（載貨重量トン 20 万トン級大型ばら積み船）の基本設計承認（Approval in Principle、以下「AiP」）を取得しました。

今般 AiP を取得したアンモニア燃料船（以下、本船）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「グリーンイノベーション基金事業／次世代船舶の開発／アンモニア燃料船の開発」に共同採択された、「アンモニア燃料船開発と社会実装の一体型プロジェクト」の一環として、当社にて設計致しました。現時点では、アンモニアを船用燃料として利用するための国際規則が存在していないため、本船の竣工に向け、代替設計承認（注 1）の取得を見据えており、今般、アンモニアを船用燃料として使用する際の安全性についてリスクアセスメント（HAZID Hazard Identification Study）を実施し、本船の基本設計は、「既存の燃料で航行する船舶と同等の安全性を担保することが可能」と評価されました。

本 AiP 取得は、海事関係者の新たな挑戦であるアンモニア燃料船を社会実装する為の重要なマイルストーンであると共に、造船所として、IMO が掲げる 2030 年までに 2008 年比 40% 効率改善、2050 年までに 2008 年比 50% 総量削減、更には今世紀中できるだけ早期に GHG 排出フェーズアウト（ゼロ・エミッション）達成に向け、有望なゼロ・エミッション燃料であるアンモニアを船用燃料とした船を早期に建造することに向けて、重要なステップの一つになります。

当社は、今後も環境負荷低減技術を活かし、地球環境に優しい船舶の提供を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



(注 1) 代替設計承認とは、国際規則が定まっていない船舶の設計を行う場合に、既存の国際規則に則り建造された船舶と同等の安全性を担保していることを立証し、主管庁の承認を得ることを指します。本船のような ClassNK のガイドラインに則り設計された船舶は、SOLAS 条約（海上人命安全条約、International Convention for the Safety of Life at Sea）に則り、主管庁から承認を得た上で、承認された代替設計に基づいて建造される場合、アンモニアを船用燃料として利用できることとなります。

以上